

2020年度 日本工学院八王子専門学校											
マンガ・アニメーション科四年制 アニメーションコース											
制作研究 1											
対象	2 年次	開講期	通年	区分	必	種別	実習	時間数	90	単位	3
担当教員	平岡栄一、鈴木大樹			実務 経験	有	職種	映像編集（平岡）、V F Xアーティスト（鈴木）				
授業概要											
学習成果を作品にまとめます。また、受講内容から更に高度な技法や理解度を補うための研究も行います。											
到達目標											
個人制作から少数での制作～数名でのプロダクション演習を通してグループによる制作物を完成させ、グループ制作においては作品を完成させるための役割分担やコミュニケーションが出来るようなデジタル技術を中心としたアニメーションを含む映像制作技術を習得し、作品を作り上げます。											
授業方法											
導入では個人による制作ワークショップから始まり、作品制作のワークフローなどを理解します。中盤から終盤にかけて人数を徐々に増やした(アニメーションを含む)映像制作ワークショップを実施し、個人の制作との違いやメリットなどを学習します。途中段階で「制作実習 1」と連動した制作ワークショップとなり、最終的には個人でも映像作品を作ることができて、かつ少人数での作品も作れるようになります。											
成績評価方法											
制作物の提出と品質、提出〆切の順守について総合的に評価する他、授業時間内に行われる発表方法、内容について評価します。											
履修上の注意											
デジタルの実習室使用についてはルールがあるので順守してください。授業中の携帯電話の使用は禁止としますが、資料閲覧が必要な場合は教員に許可をとった上でP Cでのネットの使用可とします。											
教科書教材											
参考書・参考資料等は、授業中に指示します。											
回数	授業計画										
第 1 回	デジタル制作基礎/ワークショップ										
第 2 回	映像制作基礎(1)/プリプロダクション										
第 3 回	映像制作基礎(2)撮影(カットの作成)										

2020年度 日本工学院八王子専門学校	
マンガ・アニメーション科四年制 アニメーションコース	
制作研究 1	
第 4 回	映像制作基礎(3)/編集、MA
第 5 回	映像制作基礎(4)/発表
第 6 回	映像制作基礎(5)
第 7 回	映像制作基礎(6)
第 8 回	グループワーク/アニメーション作品制作 1
第 9 回	グループワーク/アニメーション作品制作 2
第 10 回	グループワーク/アニメーション作品制作 3
第 11 回	グループワーク/アニメーション作品制作 4
第 12 回	グループワーク/アニメーション作品制作 5
第 13 回	グループワーク/アニメーション作品制作 6
第 14 回	グループワーク/アニメーション作品制作 7
第 15 回	グループワーク/アニメーション作品制作 8

2020年度 日本工学院八王子専門学校	
マンガ・アニメーション科四年制 アニメーションコース	
制作研究 1	
第 1 6 回	修了制作(1) レイアウト撮スキャン方法
第 1 7 回	修了制作(2) レイアウト撮解像度
第 1 8 回	修了制作(3) レイアウト撮色深度
第 1 9 回	修了制作(4) コンテ撮について
第 2 0 回	中間講評会第一回
第 2 1 回	修了制作(6) レイアウト撮コンポジット
第 2 2 回	修了制作(7) 原撮、動撮
第 2 3 回	修了制作(8) タイムシート読み込みと反映
第 2 4 回	中間講評会第二回今後のスケジュール確認、更新
第 2 5 回	修了制作(9) タイミング撮
第 2 6 回	修了制作(10) エフェクト
第 2 7 回	修了制作(11) カメラワーク

2020年度 日本工学院八王子専門学校	
マンガ・アニメーション科四年制 アニメーションコース	
制作研究 1	
第 2 8 回	修了制作(12)本撮
第 2 9 回	修了制作(13)ダビング、音響編集
第 3 0 回	まとめ、プレビュー

2020年度 日本工学院八王子専門学校											
マンガ・アニメーション科四年制 キャラクターデザインコース											
制作研究 1											
対象	2 年次	開講期	通年	区分	必	種別	実習	時間数	90	単位	3
担当教員	杵浦正一郎、山下恵			実務 経験	有	職種	アニメ背景デザイナー（杵浦）、カ ラーリスト、美容師（山下）				
授業概要											
プロの作画制作に必要な背景美術設定やデザインを描けるようになるために、基礎パースを理解し、様々な作画制作に応用できるようにするのがねらいである。（杵浦）色彩検定 3 級、色彩技能パーソナルカラー検定モジュール 1 取得につなげるスキルを習得し、色彩演習を通して色彩論を学びながら社会と個のしくみを学んでいくことがねらいである。（山下）											
到達目標											
1 点・2 点・3 点透視図法を理解し、パースを応用した様々な室内空間および風景画を描けるようになること。（杵浦）色彩の基礎知識と配色方法等を学び、センスだけに頼らない基盤をつくり、自分の作品に適用できるようになることが目的である。現場で表現・演出ができるようになることが最終目標である。（山下）											
授業方法											
鉛筆、および直定規を使用し、パースの基本を指導しながら様々な風景画を制作する。（杵浦）法則的配色、人の心理や感情に影響を与える配色、イメージ配色の講義と実習を主に行う。イメージ配色では五感をはたらかせて想像力を引き出し、また高める実習を行う。（山下）											
成績評価方法											
積極的な授業参加と授業態度、および課題を総合的に評価する。											
履修上の注意											
忘れ物をしないこと。課題提出締め切り日は守ること。大切なことは一番最初に話すので、理由のない遅刻や欠席は認めない。社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加すること。作画は量なので、多く描けるように努力すること。											
教科書教材											
鉛筆、消しゴム、45 c m 直定規、ミリペン、クロッキー帳（杵浦）配色カード、スティックのり、スケッチパッド（山下）											
回数	授業計画										
第 1 回	前期授業内容の説明、中庭スケッチ										
第 2 回	1 点透視図法を理解する、廊下などを作画（鉛筆）										
第 3 回	自分の席から見た目（カメラの目）にて教室を作画										

2020年度 日本工学院八王子専門学校	
マンガ・アニメーション科四年制 キャラクターデザインコース	
制作研究 1	
第 4 回	2点透視図法を理解する、ビル群に並木等を入れて作画
第 5 回	3点透視図法を理解する、Y路地パース・坂道パースの説明と実習
第 6 回	パースを基本に校庭中庭をスケッチ（特にケヤキを中心に）
第 7 回	透視図法に合わせてスケッチをクリンナップ（ミリペン）
第 8 回	透視図法に合わせてスケッチをクリンナップ（ミリペン）
第 9 回	透視図法に合わせてスケッチをクリンナップ（ミリペン）
第 10 回	パースに合わせて学校正門方面を作画（スケッチ）
第 11 回	スケッチをパース修正してクリンナップ（ミリペン）
第 12 回	スケッチをパース修正してクリンナップ（ミリペン）
第 13 回	スケッチをパース修正してクリンナップ（ミリペン）
第 14 回	マイルームをデザインする
第 15 回	パースに合わせてクリンナップ、提出

2020年度 日本工学院八王子専門学校	
マンガ・アニメーション科四年制 キャラクターデザインコース	
制作研究 1	
第 1 6 回	好きな色と苦手な色・単色から受けるイメージを表現、自分の嗜好を客観視する
第 1 7 回	色相・明度・彩度・清色・濁色・トーンなど色を分解して見る
第 1 8 回	色相・明度・彩度・清色・濁色・トーンなど、属性の中で見極め練習を実習する
第 1 9 回	心理・感情効果、対比・同化効果について学ぶ
第 2 0 回	光・物体・目から色への変換の仕組みを知る、混色・色彩調和論について学ぶ
第 2 1 回	味覚・嗅覚によるイメージ配色を作成する
第 2 2 回	聴覚・触覚によるイメージ配色を作成する
第 2 3 回	色相による配色について理解する
第 2 4 回	トーンによる配色について理解する
第 2 5 回	アクセントカラー・セパレーションカラー・グラデーションカラーなどを理解する
第 2 6 回	法則性に沿った配色を理解する
第 2 7 回	色布（ドレープ）を顔の近くにあてた時の色の属性別による顔の変化を見る

2020年度 日本工学院八王子専門学校	
マンガ・アニメーション科四年制 キャラクターデザインコース	
制作研究 1	
第 2 8 回	グループワークでパーソナルカラー（似合う色調域）を探る体験をする
第 2 9 回	自分でキャラクターをデザインし効果的な配色を考える
第 3 0 回	キャラクターの配色を完成させる、配色の説明をしながら発表をする

2020年度 日本工学院八王子専門学校											
マンガ・アニメーション科四年制 マンガコース											
制作研究 1											
対象	2 年次	開講期	通年	区分	必	種別	実習	時間数	90	単位	3
担当教員	井上篤史			実務 経験	有	職種	コンテンツ制作				
授業概要											
作品を構成する要素を分解し、作劇技法や登場人物の元型、構図やライティング、色彩など、物語を成立させるために必要な技術と知識を習得する。それらを解説なしで読み解き、みずからの言葉で語ることができるようになることを学習目的とする。											
到達目標											
作品を鑑賞した後、リテラシーをリソースフルに活用し、内容の把握はもとより、演出にこめられた意図や見過ごしがちな技術を読み取り、それを論理的に構築して表現して自分のものとし、作品制作時に応用できるようになることを目標とする。											
授業方法											
毎回、映像作品や漫画作品を鑑賞し、絵と文章を用いたレポートを作成する。そのレポートが商業誌に投稿可能なものになることを目指す。											
成績評価方法											
作品鑑賞後、作成するレポートの内容について評価する。											
履修上の注意											
この授業の狙いは、作品に込められた意図や、演技プラン、構図など、細部への観察が必要なため、私語やスマートフォンの操作などは禁止する。											
教科書教材											
毎回、映像作品を上映する。授業によっては、著作権法に定める引用の範囲内において、資料を配布する。											
回数	授業計画										
第 1 回	作品鑑賞と課題制作。作品を鑑賞し、作品についての考察レポートを制作する。										
第 2 回	作品鑑賞と課題制作。作品を鑑賞し、アーキタイプ『ヒーロー』についてレポートを制作する。										
第 3 回	作品鑑賞と課題制作。作品を鑑賞し、第一幕から第二幕への押し出しについてレポートを制作する。										

2020年度 日本工学院八王子専門学校	
マンガ・アニメーション科四年制 マンガコース	
制作研究 1	
第 4 回	作品鑑賞と課題制作。作品を鑑賞し、第二幕の理解についてレポートを制作する。
第 5 回	作品鑑賞と課題制作。作品を鑑賞し、第二幕の構成についてレポートを制作する。
第 6 回	作品鑑賞と課題制作。作品を鑑賞し、アーキタイプ『メンター』についてレポートを制作する。
第 7 回	作品鑑賞と課題制作。作品を鑑賞し、アーキタイプ『シャドウ』についてレポートを制作する。
第 8 回	作品鑑賞と課題制作。作品を鑑賞し、第二幕から第三幕についてレポートを制作する。
第 9 回	作品鑑賞と課題制作。作品を鑑賞し、コンテキストの重要性についてレポートを制作する。
第 10 回	作品鑑賞と課題制作。作品を鑑賞し、第三幕の理解についてレポートを制作する。
第 11 回	作品鑑賞と課題制作。作品を鑑賞し、制作の背景について理解できたか、レポートを制作する。
第 12 回	作品鑑賞と課題制作。作品を鑑賞し、プレゼン資料を作成する①
第 13 回	作品鑑賞と課題制作。作品を鑑賞し、プレゼン資料を作成する②
第 14 回	作品鑑賞と課題制作。作品を鑑賞し、観察力を鍛える。
第 15 回	まとめ。作品を鑑賞し、レポートを制作する。

2020年度 日本工学院八王子専門学校	
マンガ・アニメーション科四年制 マンガコース	
制作研究 1	
第 1 6 回	ログライン①。ログラインの重要性を理解する。
第 1 7 回	ログライン②。作品を鑑賞し、物語のログラインを記述できる。
第 1 8 回	神話の法則について①。物語の始祖である神話に用いられている法則を理解する。
第 1 9 回	神話の法則について②。地域ごとに異なる神話の法則について理解する。
第 2 0 回	作品の歴史について①。さまざまなジャンルを通して、作品の成立と発展の歴史を理解する。
第 2 1 回	作品の歴史について②。現代の作品と今後のあり方について理解する。
第 2 2 回	作品鑑賞と課題制作。作品を鑑賞し、成立の背景に基づいて理解を深める。
第 2 3 回	作品鑑賞と課題制作。作品を鑑賞し、物語の構成について理解する。
第 2 4 回	発展と複雑化。物語の進め方について理解する。
第 2 5 回	作品鑑賞と課題制作。作品を鑑賞し、第三幕の理解についてレポートを制作する。
第 2 6 回	作品鑑賞と課題制作。作品を鑑賞し、制作の背景について理解できたか、レポートを制作する。
第 2 7 回	作品鑑賞と課題制作。作品を鑑賞し、プレゼン資料を作成する①

2020年度 日本工学院八王子専門学校	
マンガ・アニメーション科四年制 マンガコース	
制作研究 1	
第 2 8 回	作品鑑賞と課題制作。作品を鑑賞し、プレゼン資料を作成する②
第 2 9 回	作品鑑賞と課題制作。作品を鑑賞し、観察力を鍛える。
第 3 0 回	まとめ。作品を鑑賞し、レポートを制作する。